

水しぶきひやり 川下り豪快 南富良野高生

ラフティング体験を楽しむ南富良野高の生徒たち



【南富良野】南富良野高の生徒が、町内落合のシーソラプチ川で恒例のラフティング体験を行った。生徒は青空の下、流れの速い場所を乗り越えるたび歓声を上げた。

地域の自然やアウトドアスポーツについて学ぶ授業の一環で11日に実施し、1～3年生55人が参加した。ドライスーツを着た生徒たちはNPO法人どんころ野外学校などのガイドからパドルの操作を教わり、6～7人ずつボートに乗船。透明度が高く雪解けで増水した川を、水しぶきを上げながら、約1時間かけて約6キロ下った。

札幌出身の1年佐藤唯人さんは「これまで川に触れる機会があまりなかった。体験できて、この高校に来て良かったと感じた」。3年の佐藤茉莉さんは「同級生と水をかけ合って盛り上がり、楽しかった」と話した。

（鹿野海人）